

評価結果概要版

利用者調査と事業評価(組織マネジメント項目・サービス項目)の評価手法

令和元年度(2019年度)

認可保育所

法人名称	社会福祉法人陽光会
事業所名称	北町保育園
事業所所在地	東京都練馬区北町3丁目3番14号
事業所電話番号	03-3933-6497

事業者の理念・方針

理念・方針	
事業者が大切にしている考え(事業者の理念・ビジョン・使命など)	1)利用者をもっとし、一人ひとりの尊厳をもって最善の利益を守る。 2)利用者本人と家族が安心して利用できる事業所をめざす。 3)地域・社会の福祉ニーズを捉え、迅速に対応し地域・社会に貢献する 4)利用者やその家族、地域。関係団体と連携し、協力・共同してその目的を果たす。 5)職員は事業の目的を果たすために自らの能力を高め、安心して働ける事業所を目指す。

全体の評価講評

特に良いと思う点

- 子どもの自主性を尊重し、子ども一人ひとりの発達に応じた保育をおこなっている**
 職員は、法人の理念である「子どもを主人公とし、一人ひとりの尊厳と最善の利益をまもる」の実現を目指して、子どもの自主性を大切にした保育を実践している。子どもが自分らしく好きな遊びを見つけて集中できるように環境構成やコーナーの充実を図り、自主的、主体的に遊べるようにしている。禁止や指示する言動に気を配り、子どもの気持ちを受け止めて生活や遊び、活動に丁寧に接し関わって保育を展開させている。職員が協力して園全体の子どもを理解し把握して、チームで保育することを意識し取り組んでいる。
- 職員は希望すれば年1回、土曜・日曜開催の研修に参加可能で、振替休日扱いと参加費が保証されている**
 職員は区主催の研修、法人内の研修、保育の関係団体主催の研修等様々な研修に参加している。保育士は「長時間・延長保育研究会」や「障害児保育研究会」などに積極的に参加して、日頃の保育に活かせる多くを学習する機会を活用して資質向上につとめている。特に、土曜・日曜日開催の研修に参加したいときがあれば、年1回は振替休日制度を活用して参加することが可能になっている。参加費も保証されていることから職員は曜日にこだわることなく自己研鑽の機会を活用して、より良い保育実践に役立てている。
- 職員の意向を踏まえて事業計画を作成したり、重要事項の決定経緯を伝えるなど、職員が納得できる園の運営を行っている**
 事業計画作成に向けた職員アンケートをとり、今年の反省や課題、運営についての意見を聞いている。把握した意見や意向を踏まえて職員会議で次年度の方針や行事予定、クラス担任などを検討し、事業計画として完成させている。決定した内容は「職員の手引き」に反映させて全職員に配布している。園の運営に関する重要事項の検討や決定は、経営層によるトップリーダー会議で行い、決定事項、および検討経緯についてはリーダー会議で報告し、さらには職員会議で報告をしている。園の運営に職員の意見を反映して、職員が納得できるように努めている。

さらなる改善が望まれる点

- 要支援児童対応もあり、児童虐待及び人権擁護に関しての意識をさらに高めるために、園全体として取り組むことを期待する**
 職員会議の前、10分間を使って「人権研修」を行うこともあり、障害児保育研究会への参加もあるが、要支援児童など気になる子どもへの対応もしていることから、児童虐待や人権擁護に関して職員がさ

らに意識を高めていく取り組みが望まれる。虐待の発見や人権意識は子どもの安心、安全につながることは明らかであり、区作成の「児童虐待防止マニュアル」等参考になるような冊子も配付されていることから、職員の個人的な体験研修ではなく、職員全員が意識するように、今後は園全体で虐待防止と人権擁護に継続して取り組んでいくことが望まれる。

- **お互いに尊重しあえ支え合える職場の実現のために、働きやすい職場を目指す取り組みをさらに充実させていくことが期待される**

園では、お互いに尊重しあえ支え合える職員集団づくりを課題としている。人間関係で問題が発生した場合には、園長や主任をはじめとして組織的な対応を図るようにしている。また、職員全員が参加するコミュニケーション研修を実施したり、産業医と契約して労働安全衛生会議を毎月開催して職員のメンタルケア等を検討している。こうした取り組みによる一定の成果も上がっているが、今回の職員アンケートでは、職員間の連携や働き方の見直しなどに関する意見も寄せられている。働きやすい職場を目指す取り組みをさらに充実させていくことが期待される。

- **事故を未然に防いでいくために、ヒヤリハットに関する取り組みを充実させていくことが期待される**

園では、ヒヤリハット事例が発生した場合には、職員が報告書に記入した内容を園長が確認し、翌日の朝礼で報告して職員間で共有している。年度ごとに園内におけるケガの発生状況を集計しているが、ヒヤリハットで報告された内容についての集計や分析は行っていない。また、ヒヤリハットの提出件数自体も少なく、分析方法や再発防止策への活用に関する職員研も未実施となっている。事故を未然に防いでいくために、ヒヤリハットに関する取り組みの充実が期待される。

事業者が特に力を入れている取り組み

- ★ **栄養士や調理師、看護師などの他職種が連携して子どもに向き合っている**

多職種が連携して子どもに向き合っている。食育計画について栄養士と調理師が十分に話し合い、クラス担任と連携して食育活動をしている。栄養士が窓口になり調理師も担当を決めて、子どもたちとじゃが芋ほりやお泊り保育での夕食づくりなどで関わっている。看護師は、保健目標を立て「健康の日」を毎月設けて、子どもたちに話しをしている。子どもたちが自分で自分の身を病気やケガから避けることができるよう、日常保育の中で計画的に指導している。手洗いやうがい、歯の磨き方なども保育士と連携しクラスを巡回したり集会形式で伝えている。

- ★ **子どもは安心して遊べる環境の中で絵を描くなどの表現活動を楽しんでいる**

子どもは美しいものや心を動かす出来事に出会ったとき、そこで生まれたさまざまな思いや感情を表現して遊んでいる。制作や描画活動に興味や関心が強く、運動会や卒園式で踊る個別の小道具を何日も時間をかけて制作している。一人で描くことが数人単位で描くようになり、描いたものを見せ合ったり、さまざまな素材や道具を駆使して展開させている。豊かな想像力で、生活での体験、楽しかった思い出をイメージして絵を描いている。保育士は子どもが絵に託した思いを読み取り、子どもの気持ちを理解して共有することに努めている。

- ★ **子どもたちは地域の保育園と積極的に交流し体験の幅を広げている**

地域の中で小・中学校や警察署、消防署などの協力を得て、子どもたちの活動の場や人との関りを広げている。近隣の小規模園に定期的に園庭を開放して交流している。5歳児は区の施設で一緒にドッチボールをして遊んだり、人形劇を見るなどして触れ合い、委託園同士の交流の場となっている。また、系列園の5歳児と互いの園を訪問しあい、歌をうたったりリズム遊びをして交流している。子ども同士が成長しあえる場、就学に向けて新しい出会いの世界を広げる場になっている。園は交流の機会を増やして関りを深めていきたいと考えている。

利用者調査結果

調査概要

- **調査対象**: 全園児世帯の保護者を対象としてアンケート調査の手法により実施した。複数の在園児がいる場合は、最年少の子どもに対しての回答をお願いした。
- **調査方法**: アンケート方式
郵送によるアンケート調査を実施した。園から調査票を配付して頂き、回収は評価機関へ直接郵送とした。
- 利用者総数: 80人
- 利用者家族総数(世帯): 63世帯
- 共通評価項目による調査対象者数: 63人
- 共通評価項目による調査の有効回答者数: 47人
- 利用者家族総数に対する回答者割合(%): 74.6%
- 調査項目: [共通評価項目](#)

有効回答者数/利用者総数
47/80

1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	はい 100%		
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	はい 96%		
	□どちらともいえない:4% □いいえ:0% □無回答・非該当:0%		
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	はい 91%		
	□どちらともいえない:6% □いいえ:2% □無回答・非該当:0%		
4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	はい 96%		
	□どちらともいえない:4% □いいえ:0% □無回答・非該当:0%		
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	はい 85%		
	□どちらともいえない:6% □いいえ:2% □無回答・非該当:6%		
6. 安全対策が十分取られていると思うか	はい 57%	どちらともいえない 36%	
	□いいえ:4% □無回答・非該当:2%		
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	はい 60%	どちらともいえない 30%	
	□いいえ:9% □無回答・非該当:2%		
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	はい 87%	どちらともいえない 11%	
	□いいえ:2% □無回答・非該当:0%		
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	はい 83%	どちらともいえない 17%	
10. 職員の接遇・態度は適切か	はい 87%		
	□どちらともいえない:9% □いいえ:4% □無回答・非該当:0%		
11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	はい 72%	どちらともいえない 23%	
	□いいえ:4% □無回答・非該当:0%		
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	はい 68%	どちらともいえない 17%	無回答・非該当 11%
	□いいえ:4%		
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	はい 91%		
	□どちらともいえない:9% □いいえ:0% □無回答・非該当:0%		
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	はい 81%	どちらともいえない 15%	
	□いいえ:0% □無回答・非該当:4%		
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	はい 85%	どちらともいえない 13%	
	□いいえ:2% □無回答・非該当:0%		
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	はい 83%	どちらともいえない 11%	
	□いいえ:4% □無回答・非該当:2%		
	はい 47%	どちらともいえない 26%	いいえ 11%

17. 外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか			無回答・非該当 17%
--	--	--	----------------